

出張授業キャラバンIN 西成

地域の歴史・地理を学ぼう

Vol.2-2



西成情報アーカイブ事業の一環として身近な地域の成り立ちについて梅南津守小学校で講義を行いました。



身近な地域の昔の姿って面白いね！



空襲・戦災について学ぶ前に、梅南津守小学校区の地域の成り立ちについて学びました。歴史的には木津川から津守新田村、木津村、今宮村の田畑の広がる農耕地であり、集落はわずかに津守村に見られただけでした。それが明治末期からの都市に流入する人々の受け皿となり、大正末期には人口は16倍増で、工場や住宅の密集する地区になりました。こうした密集市街地は空襲の標的の一つとなっていました。授業では時間切れで説明できませんでしたが、アメリカ軍は日本本土での陸上戦でグアム、サイパン島等から高性能爆撃機B29で、市街地無差別爆撃をはじめました。都市の機能をなくすには大都市では数回の焼夷弾爆撃を必要としたため、大阪市では8回、西成区では3月14日と6月15日に不幸にも市街地が焼失し、6月は小学校近辺が大火災の被害に遭いました。被災地の8ヶ月後の飛行機からのカラー映像を見ました。



2015年7月2日 大阪市立梅南津守小学校

対象…6年生

水内俊雄先生

